

平成23年度
実施事業

事務事業名	防災資機材購入費補助事業
-------	--------------

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり
施策	1	総合防災体制の整備
小分類	2	防災体制の確立
主要な施策	5	地域における防災資機材の装備
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 9 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	総務部	グループ名	総務グループ
-----	-----	-------	--------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	自主防災組織における防災活動に要する資機材の購入整備に対して補助金を交付することにより、地域における自主防災意識の高揚を図り、防災活動を積極的に推進することを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	登別市防災資機材購入整備費補助事業実施要綱に基づく資機材を、自主防災組織の規模に応じて購入費を補助した。 【事業実績】 平成22年度 ・補助金交付自主防災組織数 1 団体 ・補助金交付額 198,954円 平成23年度 ・補助金交付自主防災組織数 0 団体 ・補助金交付額 0円 【対象資機材】 情報収集伝達用具：トランジスターラジオ、トランシーバー、メガホン 消防用具：消火器、三角バケツ、消火用バケツ 救出用具：片刃ノコギリ、マサカリ、チェーンソー、ナタ、一輪車、小型発電機、ジャッキ、スコップ、パール、ハシゴ、カケヤ、大ハンマー、ツルハシ、救命ロープ、ハンディライト、ヘルメット 救護・避難用具：担架、リヤカー、救急セット、テント、天幕、防水シート、避難誘導旗、安全誘導灯、簡易
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	災害対策基本法、登別市地域防災計画、登別市防災資機材購入整備費補助事業実施要綱

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分	単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金 名称	千円					
道支出金 名称	千円					
地方債 名称	千円					
その他 名称	千円					
一般財源 名称	千円	199	0	0	600	600
事業費 合計		199	0	0	600	600

指標の推移 《Check》

区分	単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果指標	%	目標値	71	75	80	83	85
		実績値	74	76			
		目標値					
		実績値					

現況 《Check》

現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》
<p>災害対策基本法では、住民の隣保協同の精神に基づく自発的な防災組織「自主防災組織」の充実と図るとあるが、市内における「自主防災組織」の組織結成が進んでいない。また、自主防災組織を結成したことにより、災害時の避難誘導、緊急的な応急対応又は、訓練等を実施するには、ある程度の防災資機材が必要であるが、自主防災組織で必要な防災資機材を整備するには負担が大きく、なかなか整備することが出来ない。</p>	<p>防災資機材購入整備費を補助することで、自主防災組織の負担を軽減することができ、組織結成の一助となるなど災害時に被害の防止及び軽減が期待できる。</p>

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 安全、安心なまちづくりには、自主防災組織の育成は重要であり、市が補助することは妥当と考える。
	<input type="checkbox"/>	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="checkbox"/>	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="checkbox"/>	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 災害時に市が直接支援することが難しいため、自主防災組織を結成し、「自助」「共助」の強化を図りたい。
	<input type="checkbox"/>	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="checkbox"/>	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="checkbox"/>	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 資機材の選定において、必要最低限のものを選定しているため、削減は難しい。
	<input type="checkbox"/>	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="checkbox"/>	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="checkbox"/>	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="checkbox"/>	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 自主防災組織の組織率が伸びている。
	<input type="checkbox"/>	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="checkbox"/>	目に見える形で成果があがっている	
	<input type="checkbox"/>	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	防災資機材購入整備費補助事業は、自主防災組織結成の一助となることから、今後も継続し事業を進める。
-----------	----------------------	--

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考	
-----------	----	--